

番号	章	前回資料 ページ	指摘事項	ページ (修正後)	回答・修正内容
1	1章	1-3、1-5	寛文4(1664)年 → “明治8(1875)年”に修正	1-3、1-5	寛文4(1664)年 → 明治8(1875)年に修正しました。
2		1-5	点線部分拡大 ●の表記がない	1-5	●を付加しました。
3		1-8	地図A3綴じ込み	1-10-1-11	地図をA4見開きに修正しました。
4		1-9	(4)敷地形状の変遷 8行目：“昭和9(1934)年頃、本邸竣工よりは後のことと考えられる。”	1-12	“本邸竣工よりは後だが、昭和9(1934)年に近い時期のことと考えられる”に修正しました。 (根拠となる長女の子へのヒアリングでは、結婚を機に長女宅を譲り受けたこと、年齢から計算すると長女の結婚は昭和9年頃と考えられること、ただし、結婚前に長女が本邸から女学校に通っていたため、竣工と同時にあり得ないことが述べられているため。) 登記簿に基づく書き方とし、敷地の変遷図の後に所有権の変遷図を入れるとともに、記述全体を以下のようにしました。 それぞれの土地が子どもたちに譲られた時期は登記簿をもとにすれば図1－9の通りだが、鉄馬の孫へのヒアリングによれば、長女宅、長男宅(後の次男宅)は土地が鉄馬の所有であった頃から敷地内に建っていたと考えられる。長女は17歳で結婚し、その際に結婚祝いとして南側に家を建てたとされている。長女の年齢等を考慮すると、本邸竣工よりは後だが、昭和9(1934)年に近い時期のことと考えられる。また、昭和12(1937)年には、長男が結婚し、これを機に鉄馬が北側に家を建てたという。
5				1-23	「図1-9 旧赤星鉄馬邸の敷地の所有権(概略)」の「武蔵野市取得時点」の図の、旧赤星鉄馬邸の敷地の範囲に誤りがあったので、修正しました。
6		1-11～17	修道女会時代の生活の様子の記録の意味合いも含め、建物(平面図)の変遷図も入れた方が良いと思う。また、現在記載している部屋名がいつの時代のものかが読み取りにくいため、明記してほしい。	1-24～、例言	「(5)間取りと室名の変遷」を追加しました。 資料が入手できる範囲で、設計図、GHQからの返還時の図面、昭和30年の図面、増築工事時の図面(昭和54年)の平面図を記載しました。また、室名の変遷の一覧表を掲載しました。 計画中の部屋名の決定方法は、冒頭に例言を作成し、記載しました。
7		↑	本邸購入直後は本邸内のどこかに礼拝する場所を設ける等、本邸内で生活していたものの、人数の増加等に伴い増築した、といった経緯がわかりにくいため、整理した方がよい。	1-24、1-69～	・P1-24に礼拝棟・修室棟増築前の様子について記載し、当時の居間・食堂に祭壇が置かれている写真を掲載しました。 ・P1-69～の年表に修練生の増加に伴って3階を増築したことを記載し、年表の後に3階があったところの写真を掲載しました。
8		↑	修道女会時代の部屋名がわかれば記載してほしい。	1-24～	「(5)間取りと室名の変遷」を追加しました。 資料が入手できる範囲で、設計図、GHQからの返還時の図面、昭和30年の図面、増築工事時の図面(昭和54年)の平面図を記載しました。また、室名の変遷の一覧表を掲載しました。 計画中の部屋名の決定方法は、冒頭に例言を作成し、記載しました。
9		1-12他	「竣工時`GHQ接收以前」の図面にひとまとめにすると混乱を招きかねない情報がある。写真やヒアリング等の情報をもとに作成した、竣工時の配置図(推測)があると良いのではないか。	1-14～21	竣工時の配置図(推測)を加え、赤星家居住時代を「竣工直後(1934年)」と「竣工後3年程度～GHQ接收直前昭和12(1937)年頃～昭和20(1945)年頃赤星家居住後期～GHQ接收直前」に分割しました。
10		1-18	2)富豪となった背景 記述内容が競売に関することで、タイトルと一致していない。 →「赤星コレクション売却を巡る顛末」等にしていただくと整合性がとれるのではないか。	1-39	「2)赤星コレクション売却を巡る顛末」に修正しました。
11		1-19	図1-8「目録」(赤星家所蔵品入札)より 表紙・概要 “(島根大学附属図書館デジタルアーカイブ)” → 個人(内川副委員長)所蔵資料であることを記載しても良いのではないか。	1-40	ご提供いただいた画像を「個人蔵」として掲載しました。 出典を明記すれば利用できる画像を見つけたため、そちらを記載していました。
12		1-50	(2)活用の現状と課題 検討内容・意見等を入れ込み、方向性が定まった経緯等を明確にするとうい。	1-73	1章では、検討経緯の詳細は掲載せず、「また、修道女会時代に増築された礼拝棟・修室棟(文化財範囲外)」についても、修道女会時代の歴史を踏まえつつ、同様に整備の方向性を検討する必要がある。」を追加しました。
13		1-50	様々な取組を行う中で、今後活用するには、冷暖房器具や、バリアフリー設備、庭園を公園とする場合の公園施設等を、各室や庭園の用途、動線計画等にあわせて整備する必要があることが明らかになっている。 →「バリアフリー設備」を「ユニバーサルデザインを取り入れた設備」	1-73	「バリアフリー設備」→「ユニバーサルデザインを取り入れた設備」としました。
14	2章	2-7～10	下図に礼拝棟、(修室棟)の形状を落とし込む	2-7～2-11	礼拝棟、修室棟を下図に入れました。本邸の室名が見えなくなるので、本邸のみの図も残しました。
15	3章	3-11	③整備区域 ○活用に伴い必要な施設の設置方針 2ポツ目 ・バリアフリー整備として、ユニバーサルデザインとなるよう園路やアプローチを整備する。また、施設整備の方向性に応じ、バリアフリー用のエレベーターの設置を検討する(第5章活用計画参照)。 → 5-6 (2) 2) ⑤の記述と統一する。 “バリアフリー用のエレベーター” → “エレベーターの設置を検討する”に修正する。	3-11	“バリアフリー整備として、ユニバーサルデザインとなるよう“→“ユニバーサルデザインとなるよう、”に修正 “バリアフリー用のエレベーター” → “エレベーター”に修正(“バリアフリー“の文言を削除)
16		3-12	旧修室棟を解体後、庭の一部になる部分は保全区域になることを補足した方が良いと思う。 主玄関前の整備区域は、スロープ整備案を考慮すると、もう少し主玄関前側まで区域があると思われる。	3-9、3-12	「旧修室棟を解体後、～」:修室棟解体は3-14、保全区域の設定は3-10に記載あり 表玄関前の保全区域・整備区域の境界の位置を修正 保全区域 該当箇所 ”旧赤星鉄馬邸の背面北東(玄関前)側”→“旧赤星鉄馬邸の背面北東(表玄関・内玄関前)側”、または“旧赤星鉄馬邸の背面北東(表玄関前)側”に修正 整備区域 該当箇所 ”旧赤星鉄馬邸の背面北東(玄関前)側のバリアフリー整備を予定している部分”→”旧赤星鉄馬邸の背面北東(表玄関前)側のバリアフリー整備を予定している部分”に修正(“玄関”を”表玄関”に修正)

17		3-12	レーモンドが設計時に使用したものを再利用したと考えられる玉石について、活用方針を記載してもよいのではないか		No.15 を参照
18		↑	玉石は使う方が良い。	5-7	(その他) ④ (例えばGHQ接收期に整備されたと思われる噴水や修道女会時代に造られた花壇、旧礼拝堂北側の石灯籠や庭石、庭園南側の祠跡台座などの工作物)に“玉石”を追記する。
19		↑	貯水槽を撤去する場合、いつまで使用していたか等の記録保存は必要と思う。		今後、撤去するものに関しては、可能な限り記録保存を行います。
20		全般	計画に記載するというよりは今後の考え方についてであるが、旧修室棟や貯水槽を解体する場合、かつてこの場所にあったということがわかるデザインにする等により、記憶に留められるようにすることも考えられる。旧赤星鉄馬邸がここに至るまでの経緯はなるべく残した方が良い。		撤去するかについては、今後の設計段階にて検討を行います。撤去するものに関しては、可能な限り記録保存を行います。
21		3-16	図3-5 区域の区分 → 図中の方位が間違っている。	3-16	方位を修正しました。
22	4章	4-3	厨房等での火気の使用を想定しているが、危険性が高いためIHクッキングヒーター等の火災発生の可能性が低い機器を使用する方向に修正する。	4-1	①屋内出火 「今後の利活用によっては～」に「IHクッキングヒーターなど火気を使用することが考えられる。」と追記
23				4-3	(2)防火管理計画 3)予防措置に以下を追記・編集 「今後の利活用の内容によっては、旧赤星鉄馬邸の厨房、旧礼拝棟や公園施設の便益施設(以降、厨房等)で火気の使用を想定しているが危険性が高いためIHクッキングヒーター等の火災発生の可能性が低い機器を使用するようにする。」
24		4-8	(3)防犯計画 事件等で文化財が消失しうる事態も起こりえるため、防犯関連の記述をもう少し充実させても良いのではないか。	4-8	(4)防災設備計画等→(4)防災設備(防火・防犯設備)計画等とし、 防犯設備の整備計画を追記。 「不審火や防犯対策の設備計画として防犯カメラの設置を行う。スマホやパソコンでの遠隔操作が可能であるネットワークカメラとし、設置や配置計画については、屋内外での検証を行う。」
25		4-10	耐震補強時はレーモンドの設計意図を阻害しないようにする、といった構造補強方針を記載しても良いのではないか。	4-10	以下を追記 「旧赤星鉄馬邸の構造補強方針としては、レーモンドの設計意図を阻害しないようにし、～する。」
26		↑	「1階の構造上弱い箇所である下階壁抜柱の地震時の圧壊を～」の文言がわかりにくい。 → 耐震診断結果から引用した文である。資料編に耐震診断結果を掲載した方が良い。	末1-1～2	第4章の記述を以下に修正するとともに、耐震診断結果を巻末に記載する。 「具体的な構造補強策として、上階である2階に壁があり、その直下となる下階である1階に壁がない柱である下階壁抜柱があり、1階の構造上弱い箇所となっているため、地震時の圧壊を防ぐため、袖壁の増設などの補強を行う。」
27	5章	5-2	(3)建物・庭園の公開 2)公開日時 建物と庭園の公開時間は午前9時30分から午後4時30分までを原則とするが、イベント等で夜間開放を想定も留意して、建築基準法第48条許可について検討する。年末年始のほか定期的な休館日を設定する → “午前9時30分から午後4時30分まで” を削除し、 “日中を原則とするが” に修正する。	5-2	「午前9時30分から午後4時30分まで」を削除し、 「日中を原則とするが」に修正。
28		5-3	星邸で社会実験に関わってきた地域住民・団体や事業者とともに新たな価値を生み出していく活動の実施を継続する。 “民” の書体が、Microsoft JhengHei UI となっている。 → BIZ UDP明朝 Medium に修正する。	5-3	「民」 の書体が、Microsoft JhengHei UI となっている。 → BIZ UDP明朝 Medium に修正。
29		5-6	2)施設整備の具体的な方向性 (建物)(5-8～15ページ “8” が半角となっている。 → 全角に修正する。	5-6	「8」 が半角となっている。 → 全角に修正。
30		5-9	(日本間1の補強壁等) 耐震補強案はオリジナル部分をなるべく阻害することがないように留意すること。	4-10	以下を追記 「旧赤星鉄馬邸の構造補強方針としては、レーモンドの設計意図を阻害しないようにし、～する。」
31		5-17	図中の“バリアフリールート”及び“バリアフリー動線” → 「ユニバーサルデザイン」に配慮した～ に修正する。	5-27	図中の“バリアフリールート”及び“バリアフリー動線” → 「ユニバーサルデザイン」に配慮した～ に修正。
32		↑	スロープ整備時は、根へのダメージを減らすため、盛り土よりは鉄骨等でスロープを浮かす設計の方が良い。 またスロープ整備時に樹木を枯らすことがないよう、樹木医等と一緒に取り組む方が良い。	5-6	「スロープ、アプローチは、木の根へのダメージを減らすように工法等留意し整備する。」と追記。

33		5-18	4. 事業実施に向けての課題 (1)財政制約下における整備内容の重点化 一度の工事ですべてを整備することは財政上困難であることや、建築基準法上の遡及適用を受ける登録有形文化財では整備可能範囲が限られることから、2期に分けて整備する。第二期工事の内容については、第一期工事後の活用状況、運営上の知見の蓄積、利用者ニーズ等の変化、文化財価値の向上を踏まえた指定の可能性を考慮して検討する。 第1期工事では、劣化が進んでいる建物を安全かつ健全な状態にするために必要な劣化部分の改修・修繕工事、耐震補強工事、庭園・外構等改修工事、防犯・防災設備等工事を優先し、その他の復元工事は、財政制約上許容される限度で実施する。残余は財政状況等を勘案しながら適切な時期に第2期工事として実施する。	5-28	「一度の工事ですべてを整備することは財政上困難であることや、建築基準法上の遡及適用を受ける登録有形文化財では整備可能範囲が限られることから、2期に分けて整備する。第1期工事では、劣化が進んでいる建物を安全かつ健全な状態にするために必要な劣化部分の改修・修繕工事、耐震補強工事、庭園・外構等改修工事、防犯・防災設備等工事を優先し、その他の復元工事は、財政制約上許容される限度で実施する。残余は財政状況等を勘案しながら適切な時期に第2期工事として実施する。第2期工事の内容については、第一期工事後の活用状況、運営上の知見の蓄積、利用者ニーズ等の変化、文化財価値の向上を踏まえた指定の可能性を考慮して検討する。」に修正。
34	その他		庭にある諸設備を模型に加えると、より現実的で良いかもしれない。		反映します。
35			主玄関前にフラットにする部分を増やすと、その分塀の高さが低くなる箇所があるため、塀のやり替え時に高くする必要が生じると思われる。	3-17	「コンクリートブロック塀等を改修する際は～」→「コンクリートブロック塀等を改修又はやり替える際は～」と追記。
36			塀をやり替える場合は、必ずしもコンクリート塀でなくても良いと思う。 (メンテナンス性を考慮して決定して良いと思う。例えば木の塀なども考えられる)	3-17	「コンクリートブロック塀等を改修する際は～」→「コンクリートブロック塀等を改修又はやり替える際は～」と追記。
37			保存活用計画策定委員会の“各回の審議内容をまとめた資料”を巻末に記載する。		保存活用計画策定委員会の“各回の審議内容をまとめた資料”を巻末に記載しました。
38			保存活用計画策定委員会の“委員構成”を巻末に記載する。		保存活用計画策定委員会の“委員構成”を巻末に記載しました。
39			現在までに開催した“活用イベント等による社会実験実施・一般公開などのまとめ”を巻末に記載する。		【武蔵野市】素案段階では記載せず、本計画にて対応します。
40			“耐震診断結果”を巻末に記載する。		“耐震診断結果”を巻末に記載しました。
41			WiFi整備、LED照明など、建物整備に関して補助金の対象となる項目を計画に記載する。	5-8	(3)建築計画、外構及び周辺整備計画 1)平面計画電気設備や給排水設備 ③公開、活用に係る施設や設備等 に以下を追記。 「電気設備や給排水設備については、ついでに、老朽化が著しいため配線及び配管をやり替える。新しく整備する照明についてはLED化を推進するが、当初材である照明器具やスイッチなどは撤去せずに保存修理し、使えるようにする。 インターホンや電話の他、防犯カメラやAR等を用いた展示も検討していくため、wifi設備も整備する。」
42		全般	A3図面はやめてA4図面(見開きで図を掲載)にする。又、5章の工事工程ステップ図は掲載しない、	全体	A3図面はやめてA4図面(見開きで図を掲載)にする。又、5章の工事工程ステップ図はカットした。
43		全般	誤字、文字や図の見切れ、文法上の間違い等を修正	全体	誤字、文字や図の見切れ、文法上の間違い等を修正しました。
44	どこでもミーティング		修室棟を解体する場合も、記録保存をしっかりと行うべきである。	5-7	(2)施設整備の方針と具体的な方向性 2)施設整備の具体的な方向性 (その他)③に以下を追記。 「今後、展示ができるよう部材保存や記録保存なども行うこととする。」
45			修道女会時代の建造物の部材を一部切り取って保存することも考えられる。解体時に精査しながら決定していくべきだ。	5-7	(2)施設整備の方針と具体的な方向性 2)施設整備の具体的な方向性 (その他)③に以下を追記。 「今後、展示ができるよう部材保存や記録保存なども行うこととする。」
46			当時の修道女会について語れる方への聞き取りを映像化するなど、資料として残すことが大切で、そのように残しておくこと展示等にも活用できる。	5-3	No.4～7 を参照 (5)関連資料の公開 1)展示のあり方 に以下を追記。 「、復元工事の記録やこれまでの旧赤星鉄馬邸の変遷がわかる写真や聞き取りなども含む記録映像を用いた展示解説を行うことが考えられる。」
47			動線のこれまでの検討経緯を記載しても良いかもしれない。議論を重ねた結果の結論であるが、結論だけ読む人には理解が得られにくいように思う。	5-7,8	No.10 を参照 (3)建築計画、外構及び周辺整備計画 1)平面計画 ③公開、活用に係る施設や設備等 以下を追記。 「なお、ユニバーサルデザイン設備であるエレベーターの設置箇所については、以下を候補として検討した。 ・本邸西側の「納戸1」の既存躯体フレーム内部にエレベーターを設ける案(A案) ・本邸西側の外部に外付けにてエレベーターを設ける案(B案) ・本邸の「中庭3」に外付けにてエレベーターを設ける案(C案) A案については、建築基準法に適合しない躯体を改修することによる既存遡及や、躯体への影響が大きく、施工上の難易度も高い。 C案については、渡り廊下で囲まれた位置へEVを設置する施工上の難しさ、設置後のメンテナンス性の悪さ、将来的な復元に対して生じる制約などがある。これらの理由により、本邸の西側の外部に外付けにてエレベーターを設ける案であるB案とした。」
48			(メインの出入口は旧礼拝棟としているが)イベント時等には表玄関・内玄関から入れるようにすることを活用計画に加筆いただければと思う。	5-7	中段に以下を記述済み 「イベントや日によっては「玄関」や「家族玄関」から出入りできるようにする。」
49			家具の復元は、最初はここまで等フェーズを決めつつ、長い目で取り組んだ方が良い。空間だけでなく、設計に関わるチーム・人間の関係性も復元できると良い。様々な兼ね合いもあると思うが、復元をやらないと決めつけない方がよく、計画案にも記載した方が良い。		後ほど資料が出てくることもあるので、家具復元に関しては継続的に取り組む課題とする。